

月の満ち欠け

9 / 2 (火)	上弦
9 / 9 (火)	満月
9 / 16 (火)	下弦
9 / 24 (水)	新月

ある調査に拠りますと、死亡事故に関して新月、満月の時期に集中しているという。私の長年の代理店経験でも、明らかに自動車事故は新月、満月の日に多いのです。いつにも増して安全運転を。

事故対策 ワンポイントアドバイス
～トミー～

■交差点の左折方法に問題はありますか？交差点を左折後の進行先が片側2車線の場合あらかじめ左折前に道路左側にできる限り沿った状態で左折進行しますが、進行先の車線は左側の第一車線へ進行する決まりです。左折しながら中央寄り車線（第2車線）へいきなり進行することは、道路交通法に反するもので、並走する他の車両と事故の際には責任割合が修正加算されます。

◆交差点左折進入後（既左折後）に、2車線道路の右側車線へ車線変更を行う際の事故左折完了後に2車線道路左の第1車線から右の2車線へただちに車線変更を行う事故態様の場合は、事故後の責任割合の協議では、左折完了前か後か、双方の車両のうち片方が寄ってきたとか、双方共に寄り合って車両衝突したものなど、当事者の事故状況が食い違うことが多く散見されます。

この場合は、判例だけに当てはめた協議では双方の折り合いが難航するため訴訟にまで発展するケースが増えています。事故の衝突地点や衝突前のお互いの状況や位置についても事後ではあいまいになりますので、周辺の日印の確認や現場・被害物の写真を撮ることや目撃者を確保するなどの情報の確保をお願いいたします。

★今回は駐車場内の事故態様についてです。

立ち読み・ななめ読み

★謙信の軍配者

著者：富樫倫太郎 620円

出版：中央口論新社

軍配者シリーズ 上杉謙信の側近で軍事の参謀を主人公とした物語。永遠のライバル武田信玄の軍配者勘助との策略が交錯する。軍神と呼ばれた謙信の影の功労者。

★「死にざま」こそ人生

著者：柏木哲夫 740円

出版：朝日新書

著者は医師。日本のホスピスプログラムの草分け。約2500名の患者を看取った経験から、「人は生きてきたように死んでいく」「よき死を死すためにはよき生を生きる必要がある」と。生と死が一枚の紙の表裏のようなものだと考えれば、風で紙が裏返るように、突然…ということも無いとは言えない。死など意識する暇は無く、生きるために精一杯努める毎日ではありますが、自らを振り返る、周りの人々のことを想う、必ず来る「その時」のためにそんなことを少し意識させる本でした。

スタッフの声 黒田 法一

あまり趣味のない私ですが、5年前より家庭菜園を始めました。化学肥料を使わず、枯草や鶏糞などを使い、もちろん無農薬で栽培された野菜は天下一品です。葉の変化や実の大きさに一喜一憂の日々、春夏はパセリ、キュウリ、トマト、ニガウリを収穫、いい気分になります。

出会い感動

世界遺産を陰で支えた染物工山

先頃、富岡製糸場が世界遺産に認定された。生糸の生産工場だがその世界最高の生糸に色を付ける染物工の存在を忘れてはならない。

博多区美野島にはかつて染物工の職人が多くいたが、今では一軒を残すのみとなった。工場へ入ると染物に使う液のにおいが鼻をつく。暫く時間を頂きお話をうかがった。作業着にはいろいろな染め色がつき、パレットの様だ。ご主人曰く、「今まで何人の職人が途中でやめていった事か？住み込みでの修行は今の若い人がついてこられない」と。伝統の技の伝承に危機感を感じながら仕事に取り組んでこられた。この染められた生糸は世の中に二つとない着物の原材料となる。美しい着物の原点だ。

残りの人生を考えるとほとんど時間がない。この技は自分が亡くなると終わりです。]と嘆きが伝わる。染物工には、長い時間をかけ、色の蓄積がありカルテ数としてはおそらく10万色を超えるのではないかとこの事だ。そして新しい色づくりに挑戦すればその可能性は無敵だとのこと。海外製に比べ色落ちがほとんどなく耐洗濯性、耐光性に優れているため今でも一部の高級着物に使われる。ご主人の自慢は、帯に使う川模様の生糸だとのこと、それもまた同じ模様は二つとない着る人だけの模様へ変身するようだ。

技術の進歩と移り行く世の中において、埋もれかけるものがここにある。当時の「最新鋭の伝統技術」も人間と同じく人間が作ったものにはみな寿命がある。どんなに壮観で伝統の技術が込められていても、永遠に続くと思えそうなものでも。ここには日本の伝統技があるが、それは同時に、それがやがて絶えていくという現実を受け止めなければならないということでもあった。素晴らしい技があり、残したくても残せない理由がある。願わくばこの技を継承される人との出会いがあればよいと思う

薬売りの家訓

家の軒先に腰掛け、世間話をしながら小さな薬箱を整理する配置薬のおじちゃんと母が話をしている。子供のころ見かけた光景の中で、今でも記憶に残っているものの一つです。

以前にも紙面でご紹介しましたが、佐賀県鳥栖市田代のくすり博物館の続編となります。正式には中富記念くすり博物館ですが、江戸時代に発達した田代の配置薬の資料館です。田代は配置薬としては富山・大和・近江と並び日本の四大売薬といわれています。全国の各家庭を訪ね必要な薬を置いてもらい、使った薬だけ料金を頂く仕組みですが、今ではドラッグストアにおされ、先ほどのような光景は全く見なくなりました。そんな環境の中でも、親御さんから仕事を引き継ぐ家があります。

福岡や佐賀ではその市場を大型店に奪われ、今では鹿児島・宮崎の田舎が残された市場で、配置箱の点検を行っています。その地域ではお年寄りが多く、今でも薬売りの存在は欠かせないようです。時には世の中の事や時には故郷を離れた子供たちの事などそれは薬売りにとどまらず、商売を超えて「心の薬」も一緒に届ける事も仕事の一部になっているようです。

このほど代々続いてきた現社長が他界されたこともありご自宅をお訪ねしました。ご子息が後を継がれほっとされたと同時にこれから商売として成り立つのかを心配しておられたようです。ご子息はそれでも仕事の意義を感じながらほんの少しの市場で今日も薬を売っておられ、これからも続けていかれるようです。お仏壇に向かった時に先々代が残された家訓が大切にかけられていましたのでご紹介いたします。

『〇〇家 家訓 先祖を尊び、家内は争いなく、仕事に励み、つつましく暮らす事。』

何事も基本は家にあるのだと感じました。薬売りに限らず縁側でさまざまな会話をする古き良き光景がなくなっていくようです。

医療費が高額になるときに活用できる社会保険の高額療養費制度 特定社会保険労務士 有光 北斗

■高額療養費とは？

高額療養費とは、医療機関や薬局の窓口で負担した額が一定の自己負担限度額を超えた場合に、その超えた額が払い戻されるというものです。一定の自己負担額は、同一月で判断されることになっており、所得等によって計算方法や上限額が定められています。また、世帯で合算できたり、多数回となった場合に自己負担額が軽減される仕組みもあります。

■2種類の申請方法

高額療養費は、制度の対象となった後に申請する方法のほかに、入院し手術する予定がある等、高額療養費がかかることが予め分かっている場合に、事前に申請する方法の2種類があります。

①事前申請制度

事前に申請する場合には、まず、協会けんぽ等の保険者より所得区分に応じた限度額認定証※の発行を受けます。この認定証を医療機関や薬局の窓口で提示することにより、医療機関の窓口での支払を自己負担額の上限額までにとどめることができます。自己負担額の上限を超える部分は、保険者から医療機関や薬局へ直接支払われることになります。

※70以上の場合は認定証の発行は不要です。

この事前申請は、平成24年4月から入院だけでなく、外来診療についても利用できるようになっています。

②事後申請制度

事後申請とは、一旦医療機関や薬局窓口で自己負担額を全額支払い、後から自己負担限度額を超える額の払戻しを申請する制度です。払戻される時期は、医療機関などから提出される診療報酬明細書の審査を経てから行われるため、通常、3ヶ月以上かかります。

事前申請・事後申請のいずれであっても自己負担額に変わりはありませんが、事後申請の場合には、一時的な立替が生じるため負担が大きくなりがちです。事前申請を行うことで、一時的とはいえ、被保険者等の負担が少なくなるほか、事後に高額療養費の支給申請をする手間が省けるといったメリットがあります。

今後の万が一の入院や手術に備え、事前申請制度も含めた高額療養費の制度について知っておくとよいかもしれません。